

家庭ごみ排出実態調査

報告書

平成28年 3月

東京都北区

《 目 次 》

第1章 調査概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の概要.....	1
(1) 分析対象物.....	1
(2) 調査対象地域.....	1
(3) 調査規模ならびにサンプル数.....	1
(4) 調査日程.....	2
(5) 分析場所.....	2
(6) 調査方法.....	3
第2章 調査結果	5
1 ヒアリング調査結果.....	5
(1) 世帯人数分布.....	5
(2) 蓄積日数分布.....	6
2 分析結果.....	7
(1) 排出原単位.....	7
(2) 排出原単位の分布.....	10
(3) 分類項目ごとの排出原単位.....	12
第3章 資源化可能物等の解析	19
1 可燃ごみの解析.....	19
2 不燃ごみの解析.....	21
第4章 厨芥類の組成割合に関する解析	23
1 調査結果.....	23
2 可燃ごみの厨芥類組成の解析.....	23

第 1 章 調査概要

1 調査の目的

本調査は、家庭から排出される可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位や組成割合等の変化を把握することを目的とし、平成 26 年度に実施したごみ排出実態調査（「前回調査」という。）の追跡調査という位置づけのもと実施した。

2 調査の概要

（1）分析対象物

分析対象物は各家庭から集積所へ排出される家庭ごみとし、そのうち可燃ごみ及び不燃ごみとした。

（2）調査対象地域

対象地域は前回調査と同様とした。クラスターごとの調査対象町丁目とその特徴を表 1-1 に示す。

表 1-1 調査対象地域

	調査対象町丁目	特徴
クラスター①	赤羽西 3 丁目	2-5 人世帯が多く、戸建、持ち家世帯が多い 23 区の東部、西部に多く分布する。
クラスター②	王子 1 丁目	単身、または 5 人の間借り世帯が多い。中心部に多く分布する。
クラスター③	志茂 2 丁目	人口密度が高く、共同住宅、民間の借家世帯が多い。
クラスター④	赤羽台 1 丁目	11 階以上の超高層公営借家が多い。

（3）調査規模ならびにサンプル数

調査規模は可燃ごみ 60 世帯、不燃ごみ 60 世帯とした。

クラスターごとの調査サンプル数は、区全体の世帯数（平成 22 年国勢調査結果より）に応じて設定した（表 1-2）。

表 1-2 調査サンプル数

	区全体		調査 サンプル数
	世帯数	割合	
クラスター①	30,408	19%	10
クラスター②	4,577	3%	5
クラスター③	78,124	48%	30
クラスター④	47,654	30%	15
計	160,763	100%	60

(4) 調査日程

ごみの排出原単位及びごみの組成は季節的な変動があるため、前回調査と同時期の7月上旬に実施することを前提に、表 1-3 に示す日程で実施した。

表 1-3 調査日程

調 査 日	調 査 項 目	
	可燃ごみ	不燃ごみ
平成 26 年 7 月 1 日 (水)	王子 1 丁目	志茂 2 丁目
平成 26 年 7 月 3 日 (金)	志茂 2 丁目	赤羽西 3 丁目 赤羽台 1 丁目
平成 26 年 7 月 13 日 (月)	赤羽西 3 丁目 赤羽台 1 丁目	王子 1 丁目

(5) 分析場所

分析作業は北清掃工場プラットフォーム（下図枠線部分）にて実施した。



(6) 調査方法

① 集積所ヒアリング調査

調査対象集積所に調査員が待機し、ごみを排出してきた世帯人に対して調査実施の旨を説明した。その後、調査協力を得られた世帯人に対し、①世帯人数、②ごみの蓄積日数の2項目のヒアリング調査を実施した。なお得られたサンプルにはロット番号をふり、集積所のわきに置いて確保した。

② 排出原単位調査

必要量が確保出来た後、サンプルを回収し、分析場所（北清掃工場）へ搬入した。搬入後、サンプルをビニールシートの上に一時保管し、ロット番号ごとに表1-4に示す重量を測定した。

③ ごみの廃棄

調査終了後のごみは、可燃ごみは北清掃工場にてごみピットへ投入し、不燃ごみは堀船清掃作業所へ搬入した。

④ データの集計・解析

得られた調査データを集計し、家庭ごみ排出原単位を解析した。

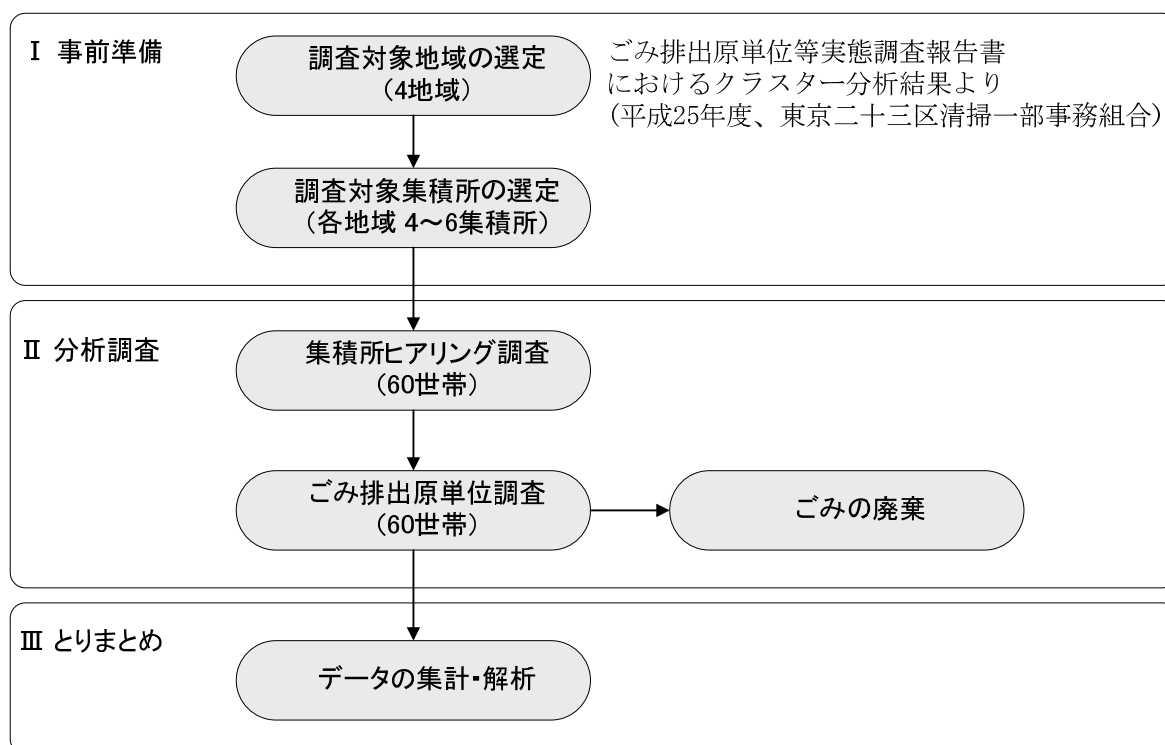


図1-1 調査フロー

表 1-4 分析調査項目

種別	分類項目			No.	代表品目
	大分類	中分類	細分類		
可燃物	厨芥類		調理くず	1	
			未利用食品	2	未開封食品
			食べ残し	3	
			その他	4	
	紙類	容器包装	段ボール	5	ボール紙製の緩衝芯のあるもの
			資源紙パック	6	牛乳、ジュース等の紙パック（内側に銀紙が貼っていないもの）
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	7	菓子箱、ボール箱
			その他紙容器（リサイクル不可）	8	アルミ蒸着紙パック
			その他紙包装	9	紙袋、包装紙
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	10	
			雑誌・書籍	11	週刊誌、月刊誌、書籍、パンフレット、ノート、カタログ
			OA用紙	12	コピー用紙、図面
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	13	ダイレクトメール、はがき、封筒(窓無)、トレットペーパーの芯等リサイクル可能紙類
			その他紙類（リサイクル不可）	14	ティッシュペーパー、ビニールコート紙、封筒(窓付)、写真、感熱紙等リサイクル不適紙類
	草木類			15	剪定枝、木箱、割り箸、麻ひも、コルク
	繊維類			16	衣類、毛布、布きれ
	紙おむつ類			17	紙おむつ、生理用品
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	18	飲料・酒、醤油等のペットボトル
			その他のボトル	19	ブロー成型品（中空のもの）
			チューブ類	20	マヨネーズ、歯磨き粉の容器
			資源発泡トレイ	21	発泡系トレイ（白色のみ）
			その他の発泡トレイ	22	発泡系トレイ（色・柄付き）
			その他プラ容器	23	カップ、卵パック、惣菜の容器、ペットボトルのふた
			その他プラ包装	24	ラップ、フィルム、袋
		レジ袋（ごみとして出された袋）	25	コンビニの袋	
		容器包装以外	その他	26	おもちゃ、CDケース、歯ブラシ、プランター
	ゴム・皮革類			27	かばん、くつ、ベルト
	その他可燃物			28	猫砂、たばこの吸殻
陶磁器・石類			29		
不燃物	金属類	容器包装	アルミ缶	30	飲料缶、食料缶
			スチール缶	31	飲料缶、食料缶
			その他容器類	32	容器のふた、スプレー缶、塗料缶、一斗缶
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)	33	なべ、やかん、ハンガー、アルミ箱
			その他金属(リサイクル不可)	34	はさみや包丁などの刃物類、アルミル
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	36	ビール瓶、一升瓶
			無色雑びん	37	
			茶色雑びん	38	
			その他色雑びん	39	
		資源回収不適な雑びん	40	薬品、化粧品のびん	
	容器包装以外		41	板ガラス、ガラスコップ、耐熱ガラス	
	土砂・残土・灰			42	
	蛍光管			43	
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			44	
体温計（電子体温計を除く）・温度計			45		
その他不燃物			46	携帯カイロ、保冷剤	
外袋	容器包装以外	レジ袋	47	ごみ袋として使用されたレジ袋	
		プラスチック袋	48	23区推奨、透明や半透明のごみ袋	

第2章 調査結果

1 ヒアリング調査結果

(1) 世帯人数分布

集積所でのヒアリング調査より得たクラスターごとの世帯人数分布を表2-1及び図2-1に示す。可燃ごみ、不燃ごみともにサンプル数合計では2人世帯の割合が最も多く、約4割を占めた。可燃ごみは2人世帯に次いで、1人世帯と3人世帯が約2割で同程度であった。不燃ごみは、2人世帯に次いで、4人以上世帯が約3割を占め、3人世帯が約2割、1人世帯が約1割であった。

前回調査と比較すると、可燃ごみは2人世帯の割合が増加し、1人世帯ならびに4人以上世帯の割合が減少した。不燃ごみは2人世帯の割合が減少し、4人以上世帯の割合が増加した。

表2-1 世帯人数別サンプル数

世帯人数	可燃ごみ						不燃ごみ					
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計	前回合計	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計	前回合計
1人	0	2	6	5	13	34	3	2	1	1	7	14
2人	4	1	16	5	26	32	4	2	11	6	23	43
3人	3	1	5	5	14	26	1	1	7	3	12	23
4人以上	3	1	3	0	7	19	2	0	11	5	18	22
合計	10	5	30	15	60	111	10	5	30	15	60	102

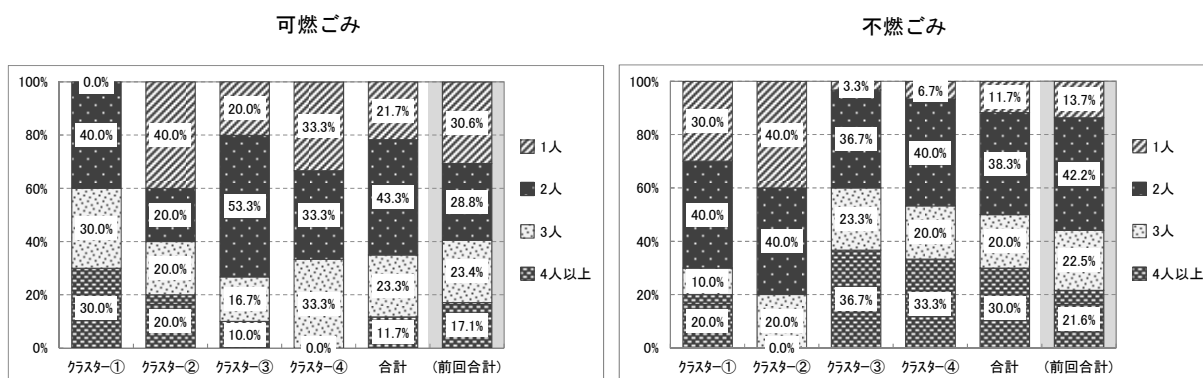


図2-1 世帯人数別サンプル数の割合

(2) 蓄積日数分布

蓄積日数は直近にごみを出した日をヒアリングすることで求めた。ヒアリングにより得られた蓄積日数を表2-2及び図2-2に示す。可燃ごみは全ての世帯において1回前の回収日（蓄積日数3～4日、収集曜日により異なる）に出したと回答があった。不燃ごみでは56世帯が1回前の回収日（蓄積日数2～3週間、収集曜日により異なる）に、残りの4世帯が2回前の回収日（蓄積日数4～5週間、収集曜日により異なる）に出したと回答があった。前回調査と比較すると、1回前の回収日に排出した割合が大きく、蓄積日数は短い傾向にある。

表2-2 蓄積日数分布

蓄積日数	可燃ごみ					前回合計
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計	
3～4日	10	5	30	15	60	95
7日	0	0	0	0	0	16
それ以上	0	0	0	0	0	0
合計	10	5	30	15	60	111

蓄積日数	不燃ごみ					前回合計
	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計	
2～3週間	9	5	27	15	56	70
4～5週間	1	0	3	0	4	32
それ以上	0	0	0	0	0	0
合計	10	5	30	15	60	102

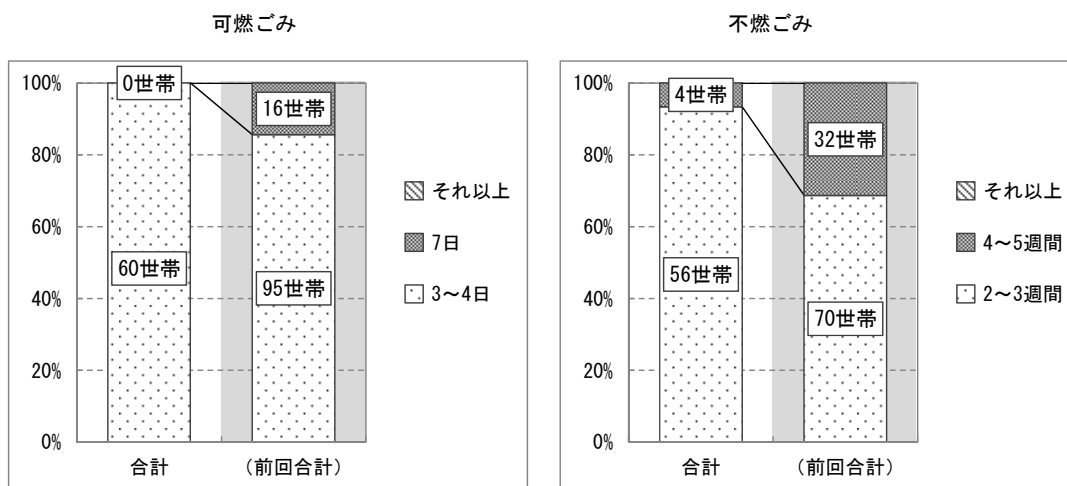


図2-2 蓄積日数分布

2 分析結果

(1) 排出原単位

① 全体の排出原単位

有効な調査サンプル数は可燃ごみ、不燃ごみそれぞれ 60 世帯とし、データの集計・解析を実施した。

可燃ごみ及び不燃ごみの排出原単位結果を表 2-3 及び図 2-3 に示す。可燃ごみは 257.8g/人日、不燃ごみは 29.4g/人日であった。

前回調査と比較すると、可燃ごみは 7.3g/人日減、不燃ごみは 8.9g/人日増であり、合計で 1.6g/人日の増となった。ただし、本調査は生データによる解析であり、前回調査はイレギュラー値を除外した値であることに留意されたい。

表 2-3 排出原単位

単位：g/人日

	本調査結果	(前回調査)
可燃ごみ	257.8	265.1
不燃ごみ	29.4	20.5
合計	287.2	285.6

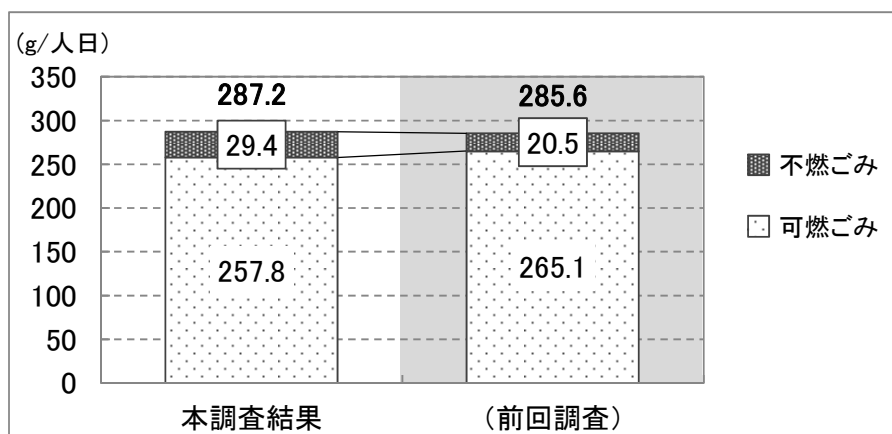


図 2-3 排出原単位

② 世帯人数ごとの排出原単位

世帯人数ごとの調査件数を表 2-4 に、排出原単位を表 2-5 及び図 2-4 に示す。

表 2-4 世帯人数ごとの調査件数

単位：件

	1人	2人	3人	4人以上	合計
可燃ごみ	13	26	14	7	60
不燃ごみ	7	23	12	18	60

表 2-5 世帯人数ごとの排出原単位

単位：g/人日

	1人	2人	3人	4人以上	合計
可燃ごみ	252.4	219.3	252.1	336.6	257.8
不燃ごみ	72.8	27.4	43.7	19.8	29.4
合計	325.2	246.7	295.8	356.4	287.2

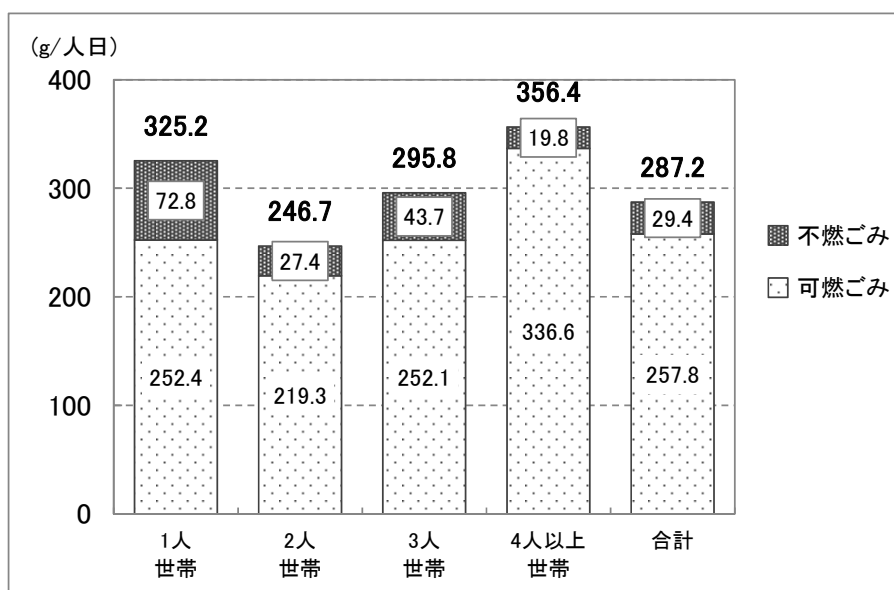


図 2-4 世帯人数ごとの排出原単位

③ クラスターごとの排出原単位

クラスターごとの調査件数を表 2-6 に、排出原単位を表 2-7 及び図 2-5 に示す。各クラスターの特徴は表 1-1 参照。

表 2-6 クラスターごとの調査件数

単位：件

	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計
可燃ごみ	10	5	30	15	60
不燃ごみ	10	5	30	15	60

表 2-7 クラスターごとの排出原単位

単位：g/人日

	クラスター①	クラスター②	クラスター③	クラスター④	合計
可燃ごみ	260.5	236.8	257.8	262.8	257.8
不燃ごみ	76.3	70.3	18.9	14.8	29.4
合計	336.8	307.1	276.7	277.6	287.2

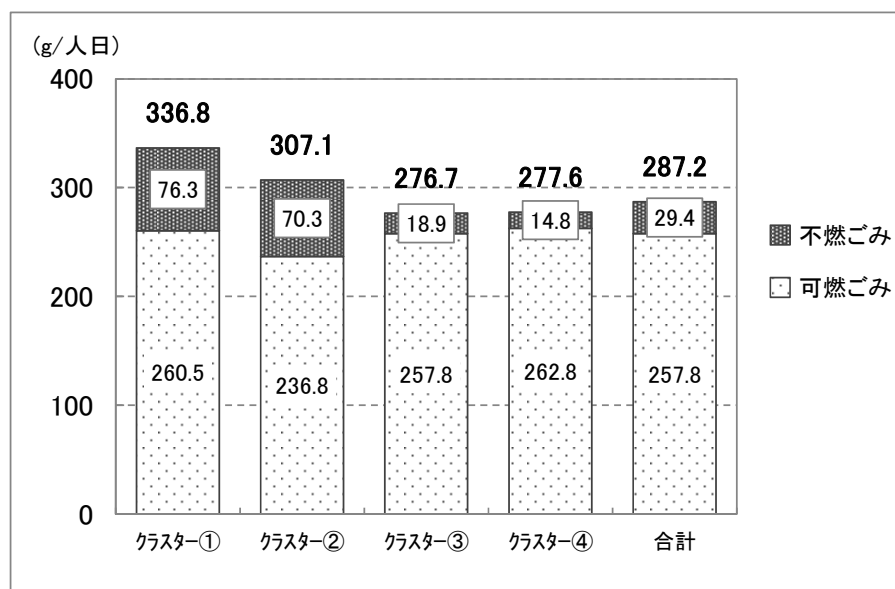


図 2-5 クラスターごとの排出原単位

(2) 排出原単位の分布

① 可燃ごみ

可燃ごみの排出原単位の分布を表2-8に示す。排出原単位は50g/人日から600g/人日の範囲での分布となった。

前回調査では最小が8.6g/人日、最大が860g/人日であり、前回調査と比較すると狭い範囲での分布となった。

表2-8 排出原単位の分布（可燃ごみ）

原単位(g/人日)	件数(件)	割合	累計	累計(前回)
0 ~ 50	0	0.0%	0.0%	6.3%
50 ~ 100	6	10.0%	10.0%	18.0%
100 ~ 150	8	13.3%	23.3%	30.6%
150 ~ 200	8	13.3%	36.7%	37.8%
200 ~ 250	11	18.3%	55.0%	55.9%
250 ~ 300	6	10.0%	65.0%	62.2%
300 ~ 350	8	13.3%	78.3%	70.3%
350 ~ 400	8	13.3%	91.7%	78.4%
400 ~ 450	2	3.3%	95.0%	83.8%
450 ~ 500	2	3.3%	98.3%	85.6%
500 ~ 550	0	0.0%	98.3%	89.2%
550 ~ 600	1	1.7%	100.0%	91.0%
600 ~ 650	0	0.0%	100.0%	91.0%
650 ~ 700	0	0.0%	100.0%	92.8%
700 ~ 750	0	0.0%	100.0%	93.7%
750 ~ 800	0	0.0%	100.0%	95.5%
800 ~ 850	0	0.0%	100.0%	99.1%
850 ~ 900	0	0.0%	100.0%	100.0%
900 以上	0	0.0%	100.0%	100.0%

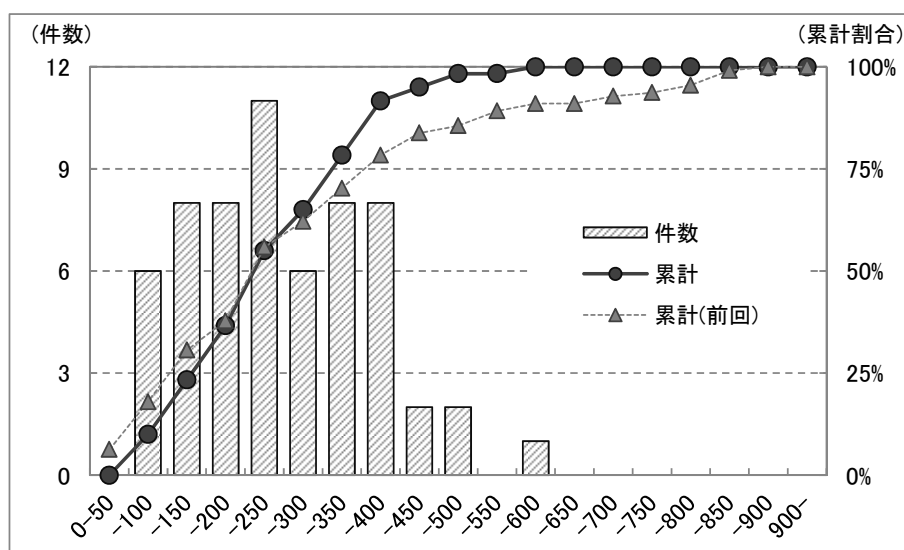


図2-6 排出原単位の分布（可燃ごみ）

② 不燃ごみ

不燃ごみの排出原単位の分布を表 2-9 に示す。100g/人日以上のサンプルは 6 件であった。

前回調査と比較すると、少量の排出者、大量の排出者ともに多い結果となった。

表 2-9 排出原単位の分布 (不燃ごみ)

原単位(g/人日)	件数(件)	割合	累計	累計(前回)
0 ~ 5	6	10.0%	10.0%	16.7%
5 ~ 10	16	26.7%	36.7%	28.4%
10 ~ 15	7	11.7%	48.3%	42.2%
15 ~ 20	3	5.0%	53.3%	56.9%
20 ~ 25	4	6.7%	60.0%	62.7%
25 ~ 30	6	10.0%	70.0%	72.5%
30 ~ 35	2	3.3%	73.3%	78.4%
35 ~ 40	1	1.7%	75.0%	80.4%
40 ~ 45	2	3.3%	78.3%	85.3%
45 ~ 50	2	3.3%	81.7%	87.3%
50 ~ 55	1	1.7%	83.3%	90.2%
55 ~ 60	1	1.7%	85.0%	90.2%
60 ~ 65	0	0.0%	85.0%	90.2%
65 ~ 70	0	0.0%	85.0%	94.1%
70 ~ 75	0	0.0%	85.0%	96.1%
75 ~ 80	0	0.0%	85.0%	97.1%
80 ~ 85	1	1.7%	86.7%	98.0%
85 ~ 90	1	1.7%	88.3%	98.0%
90 ~ 100	1	1.7%	90.0%	100.0%
100 以上	6	10.0%	100.0%	100.0%

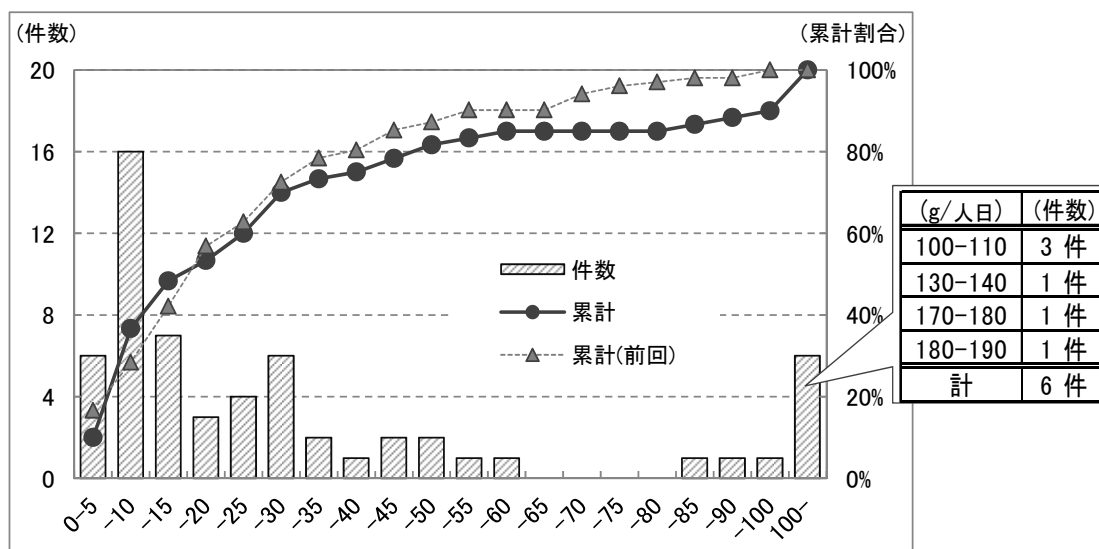


図 2-7 排出原単位の分布 (不燃ごみ)

(3) 分類項目ごとの排出原単位

① 大分類における排出原単位

大分類項目における排出原単位を表2-10及び図2-8に示す。可燃ごみは厨芥類が49.6%で約半分を占めており、多いものから厨芥類、紙類、プラスチック類の3項目で全体の90%以上となった。不燃ごみは金属類、陶磁器・石類で全体の約65%を占めた。

表2-10 排出原単位（大分類）

単位：g/人日

種別	分類項目（大分類）	可燃ごみ		不燃ごみ	
		原単位	割合	原単位	割合
可燃物	厨芥類	127.8	49.6%	0.7	2.4%
	紙類	67.3	26.1%	0.1	0.4%
	草木類	3.1	1.2%	0	0.0%
	繊維類	5.5	2.1%	0	0.0%
	紙おむつ類	8.5	3.3%	0	0.0%
	プラスチック類	39.7	15.4%	2.3	7.9%
	ゴム・皮革類	0.1	0.04%	2.4	8.0%
	その他可燃物	1.7	0.7%	0	0.0%
不燃物	陶磁器・石類	0	0.0%	9.2	31.3%
	金属類	0.4	0.2%	10.0	33.8%
	びん・ガラス	0.6	0.2%	2.8	9.4%
	土砂・残土・灰	0	0.0%	0	0.0%
	蛍光管	0.3	0.1%	0.3	1.1%
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池	0	0.0%	0.4	1.4%
	体温計（電子体温計を除く）・温度計	0	0.0%	0	0.0%
	その他不燃物	0.6	0.2%	0.9	3.1%
外袋	ごみ袋	2.2	0.8%	0.3	1.0%

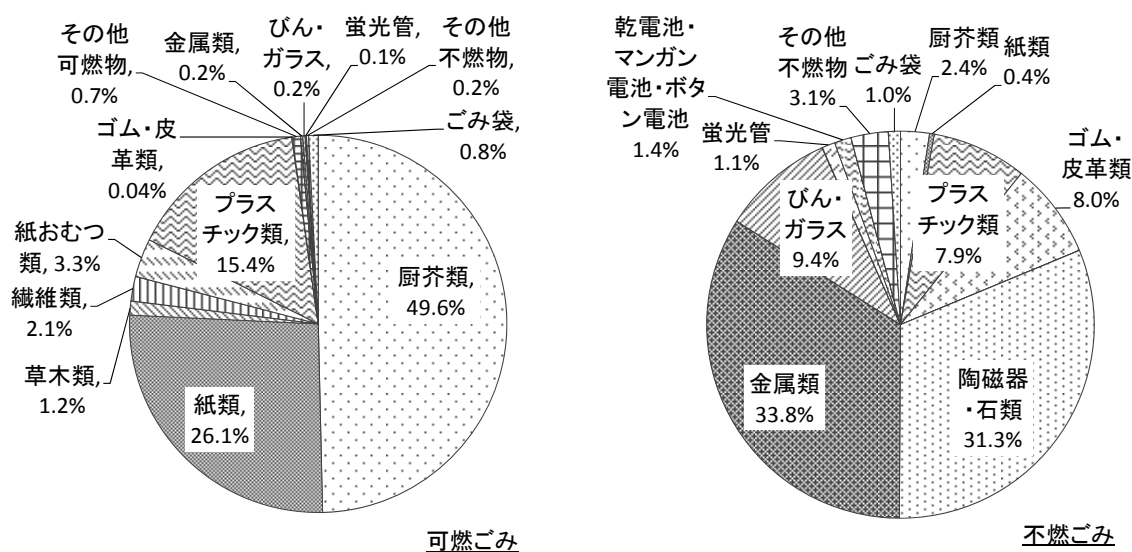


図2-8 排出原単位（大分類）

② 大分類における排出原単位の前回調査との比較

排出原単位（大分類）の前回調査との比較を図2-9に示す。前回調査と比較すると可燃ごみでは厨芥類の原単位が増加し、草木類、繊維類が減少した。不燃ごみはプラスチック類、ゴム・皮革類、陶磁器・石類及び金属類が大きく増加し、びん・ガラス、その他不燃物が減少した。

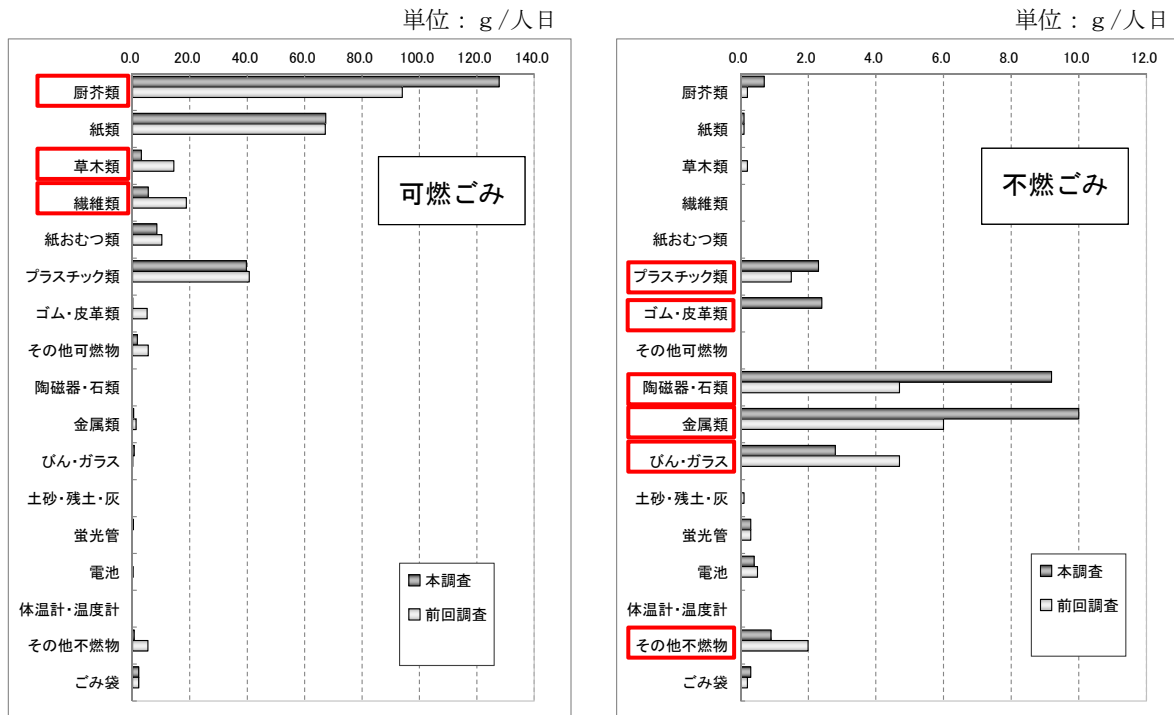


図2-9 排出原単位（大分類）の前回調査との比較

③ 大量に排出されていたもの

大項目別に前回調査と比較して排出量が増加したものについて、1世帯から大量に排出されていたものを表2-11に示す。ゴム・皮革類ではゴム製のチェーン、陶磁器・石類では食器類や鉢植え、そして金属類ではキッチン用品や調理器具が大量に排出されていた。

表2-11 1世帯から大量に排出されていたもの

大分類	具体的品目（重量※）	
ゴム・皮革類	<ul style="list-style-type: none"> ● ゴム製のチェーン(3,875g) 	
陶磁器・石類	<ul style="list-style-type: none"> ● 食器類、鉢植えなど (6,900g、5,300g、3,020g) 	
金属類	<ul style="list-style-type: none"> ● キッチン用品(2,035g) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 調理器具(1,260g) 

※全世帯分の当該品目の合計重量ではなく、一度に排出された1世帯における当該品目の重量

④ 細分類における排出原単位

細分類における可燃ごみと不燃ごみの排出原単位を表2-12に示す。

表2-12 細項目の排出原単位

種別	分類項目			可燃ごみ		不燃ごみ		
	大分類	中分類	細分類	原単位(g/人日)	割合	原単位(g/人日)	割合	
可燃物	厨芥類	調理くず		114.36	44.38%	0.29	1.00%	
		未利用食品		5.52	2.14%	0.42	1.45%	
		食べ残し		7.93	3.08%	0	0.00%	
		その他		0	0.00%	0	0.00%	
	紙類	容器包装	段ボール		0.88	0.34%	0.02	0.06%
			資源紙パック		3.02	1.17%	0	0.00%
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)		8.02	3.11%	0.07	0.24%
			その他紙容器(リサイクル不可)		4.19	1.63%	0	0.01%
			その他紙包装		2.26	0.88%	0	0.00%
		容器包装以外	新聞紙・ちらし		7.85	3.05%	0	0.01%
			雑誌・書籍		3.42	1.33%	0	0.00%
			OA用紙		2.25	0.87%	0	0.00%
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)		5.41	2.10%	0.02	0.06%
			その他紙類(リサイクル不可)		29.99	11.64%	0.02	0.05%
	草木類			3.11	1.20%	0	0.01%	
	繊維類			5.46	2.12%	0	0.00%	
	紙おむつ類			8.51	3.30%	0	0.00%	
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル		0.98	0.38%	0	0.00%
			その他のボトル		2.25	0.87%	0.17	0.59%
			チューブ類		0.56	0.22%	0	0.00%
			資源発泡トレイ		0.55	0.21%	0	0.00%
			その他の発泡トレイ		0.44	0.17%	0	0.00%
			その他プラ容器		12.83	4.98%	0.04	0.14%
			その他プラ包装		15.58	6.04%	0.15	0.52%
		レジ袋(ごみとして出された袋)		3.05	1.18%	0.05	0.16%	
	容器包装以外	その他		3.48	1.35%	1.92	6.52%	
	ゴム・皮革類			0.12	0.04%	2.36	8.02%	
その他可燃物			1.68	0.65%	0	0.00%		
不燃物	陶磁器・石類			0	0.00%	9.21	31.28%	
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.13	0.05%	0.1	0.34%	
			スチール缶	0	0.00%	0.29	1.00%	
			その他容器類	0.09	0.04%	1.93	6.55%	
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)	0	0.00%	4.48	15.21%	
			その他金属(リサイクル不可)	0.09	0.04%	2.24	7.59%	
	小型家電		0.07	0.03%	0.91	3.09%		
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	0	0.00%	0	0.00%	
			無色雑びん	0.42	0.16%	0.57	1.93%	
			茶色雑びん	0	0.00%	0.17	0.59%	
			その他色雑びん	0	0.00%	0.2	0.67%	
		資源回収不適な雑びん	0.19	0.07%	0.26	0.87%		
	容器包装以外			0	0.00%	1.57	5.33%	
	土砂・残土・灰			0	0.00%	0	0.00%	
	蛍光管			0.32	0.12%	0.34	1.15%	
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			0	0.00%	0.43	1.45%	
	体温計(電子体温計を除く)・温度計			0	0.00%	0	0.00%	
	その他不燃物			0.58	0.22%	0.92	3.11%	
	外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	1.08	0.42%	0.2	0.68%
容器包装以外			プラスチック袋	1.08	0.42%	0.09	0.32%	
合計				257.8	100.00%	29.4	100.00%	

⑤ 細分類における排出原単位の前回調査との比較

細分類における排出原単位の前回調査との差について、可燃ごみを表2-13に、不燃ごみを表2-14に示す。

可燃ごみは調理くずが34.19g/人日増加しており、前回調査と比較して厨芥類が増加したのは、この調理くずに因るところが大きい。その他紙類（リサイクル不可）は10.30g/人日増加したが、草木類、繊維類がそれぞれ11.29g/人日、13.32g/人日減少し、項目数では増加項目が14、減少項目が28で、全体では減少傾向となった。

不燃ごみは陶磁器・石類が4.58g/人日、ゴム・皮革類ならびに容器包装以外のその他金属（リサイクル可）がそれぞれ2.32g/人日、2.14g/人日増加した。項目数では増加項目が14、減少項目が22となり減少項目が多いが、増加項目の増加量が大きく、全体では増加傾向となった。

表2-13 排出原単位の前回調査との差（可燃ごみ）

種別	分類項目		可燃ごみ (g/人日)			(単位: g/人日)	
	大分類	中分類	細分類	今回	前回		前回との差
可燃物	厨芥類	調理くず	未利用食品	114.36	80.17	34.19	34.19
			食べ残し	5.52	8.62	-3.1	-3.10
			その他	7.93	5.23	2.7	2.70
			その他	0	0	0	0.00
	紙類	容器包装	段ボール	0.88	2.73	-1.85	-1.85
			資源紙パック	3.02	2.01	1.01	1.01
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	8.02	9.24	-1.22	-1.22
			その他紙容器(リサイクル不可)	4.19	4.59	-0.4	-0.40
			その他紙包装	2.26	3.44	-1.18	-1.18
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	7.85	9.91	-2.06	-2.06
			雑誌・書籍	3.42	4.69	-1.27	-1.27
			OA用紙	2.25	2.68	-0.43	-0.43
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	5.41	8.2	-2.79	-2.79
			その他紙類(リサイクル不可)	29.99	19.69	10.3	10.30
	草木類		3.11	14.4	-11.29	-11.29	
	繊維類		5.46	18.78	-13.32	-13.32	
	紙おむつ類		8.51	10.16	-1.65	-1.65	
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0.98	0.73	0.25	0.25
			その他のボトル	2.25	2.68	-0.43	-0.43
		容器包装以外	チューブ類	0.56	0.77	-0.21	-0.21
			資源発泡トレイ	0.55	0.47	0.08	0.08
			その他の発泡トレイ	0.44	0.42	0.02	0.02
			その他プラスチック容器	12.83	11.27	1.56	1.56
			その他プラスチック包装	15.58	14.56	1.02	1.02
			レジ袋(ごみとして出された袋)	3.05	3.43	-0.38	-0.38
			その他	3.48	6.39	-2.91	-2.91
			その他	0.12	5.11	-4.99	-4.99
	ゴム・皮革類		1.68	5.49	-3.81	-3.81	
	不燃物	陶磁器・石類		0	0.02	-0.02	-0.02
			容器包装	アルミ缶	0.13	0.02	0.11
スチール缶				0	0.11	-0.11	-0.11
その他容器類				0.09	0.13	-0.04	-0.04
容器包装以外			その他金属(リサイクル可)	0	0.18	-0.18	-0.18
		その他金属(リサイクル不可)	0.09	0.29	-0.2	-0.20	
びん・ガラス		容器包装	小型家電	0.07	0.56	-0.49	-0.49
			生きびん	0	0	0	0.00
			無色雑びん	0.42	0	0.42	0.42
			茶色雑びん	0	0.06	-0.06	-0.06
		その他色雑びん	0	0	0	0.00	
資源回収不適な雑びん		0.19	0.02	0.17	0.17		
容器包装以外			0	0	0	0.00	
土砂・残土・灰			0	0	0	0.00	
蛍光灯			0.32	0.02	0.3	0.30	
乾電池・マンガン電池・ボタン電池		0	0.17	-0.17	-0.17		
体温計(電子体温計を除く)・温度計		0	0	0	0.00		
その他不燃物		0.58	5.47	-4.89	-4.89		
外袋	容器包装以外	レジ袋	1.08	0.92	0.16	0.16	
		プラスチック袋	1.08	1.25	-0.17	-0.17	

表 2-14 排出原単位の前回調査との差（不燃ごみ）

種別	分類項目			不燃ごみ (g/人日)			(単位: g/人日)	
	大分類	中分類	細分類	今回	前回	前回との差		
可燃物	厨芥類	調理くず		0.29	0.06	0.23	0.23	
			未利用食品	0.42	0.06	0.36	0.36	
			食べ残し	0	0.11	-0.11	-0.11	
			その他	0	0	0	0	
	紙類	容器包装	段ボール	0.02	0.02	0	0	
			資源紙バック	0	0	0	0	
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	0.07	0.01	0.06	0.06	
			その他紙容器(リサイクル不可)	0	0	0	0	
			その他紙包装	0	0.01	-0.01	-0.01	
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	0	0.05	-0.05	-0.05	
			雑誌・書籍	0	0.01	-0.01	-0.01	
			OA用紙	0	0	0	0	
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	0.02	0.01	0.01	0.01	
			その他紙類(リサイクル不可)	0.02	0.03	-0.01	-0.01	
	草木類		0	0.16	-0.16	-0.16		
	繊維類		0	0	0	0		
	紙おむつ類		0	0	0	0		
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	0	0.17	-0.17	-0.17	
			その他のボトル	0.17	0.41	-0.24	-0.24	
			チューブ類	0	0.01	-0.01	-0.01	
			資源発泡トレイ	0	0	0	0	
			その他の発泡トレイ	0	0	0	0	
			その他プラ容器	0.04	0.06	-0.02	-0.02	
その他プラ包装			0.15	0.11	0.04	0.04		
レジ袋(ごみとして出された袋)			0.05	0.06	-0.01	-0.01		
容器包装以外			1.92	0.7	1.22	1.22		
その他								
ゴム・皮革類		2.36	0.04	2.32	2.32			
その他可燃物		0	0.04	-0.04	-0.04			
不燃物	陶磁器・石器		9.21	4.63	4.58	4.58		
		金属類	容器包装	アルミ缶	0.1	0.12	-0.02	-0.02
			スチール缶	0.29	0.34	-0.05	-0.05	
	その他容器類		1.93	1.2	0.73	0.73		
	容器包装以外	その他金属(リサイクル可)	4.48	2.34	2.14	2.14		
		その他金属(リサイクル不可)	2.24	0.35	1.89	1.89		
		小型家電	0.91	1.62	-0.71	-0.71		
		びん・ガラス						
		容器包装	生きびん	0	0	0	0	
	容器包装以外	無色雑びん	0.57	1.65	-1.08	-1.08		
		茶色雑びん	0.17	0.63	-0.46	-0.46		
		その他色雑びん	0.2	0.18	0.02	0.02		
		資源回収不適な雑びん	0.26	0.82	-0.56	-0.56		
		その他	1.57	1.45	0.12	0.12		
	土砂・残土・灰		0	0.06	-0.06	-0.06		
	蛍光管		0.34	0.35	-0.01	-0.01		
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池		0.43	0.46	-0.03	-0.03		
	体温計(電子体温計を除く)・温度計		0	0	0	0		
	その他不燃物		0.92	1.89	-0.97	-0.97		
	外袋	容器包装以外	レジ袋	0.2	0.2	0	0	
			プラスチック袋	0.09	0.04	0.05	0.05	

(4) 調査データ (重量)

調査により得られた重量データを表2-15に示す。

表2-15 調査データ (重量)

種別	分類項目			可燃ごみ		不燃ごみ	
	大分類	中分類	細分類	排出量(g)	割合	排出量(g)	割合
可燃物	厨芥類	調理くず		54,320	44.38%	740	1.00%
		未利用食品		2,620	2.14%	1,070	1.45%
		食べ残し		3,765	3.08%	0	0.00%
		その他		0	0.00%	0	0.00%
	紙類	容器包装	段ボール	420	0.34%	45	0.06%
			資源紙パック	1,435	1.17%	0	0.00%
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)	3,810	3.11%	175	0.24%
			その他紙容器(リサイクル不可)	1,990	1.63%	10	0.01%
			その他紙包装	1,075	0.88%	0	0.00%
		容器包装以外	新聞紙・ちらし	3,730	3.05%	10	0.01%
			雑誌・書籍	1,625	1.33%	0	0.00%
			OA用紙	1,070	0.87%	0	0.00%
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)	2,570	2.10%	45	0.06%
			その他紙類(リサイクル不可)	14,240	11.64%	40	0.05%
	草木類			1,475	1.20%	5	0.01%
	繊維類			2,595	2.12%	0	0.00%
	紙おむつ類			4,040	3.30%	0	0.00%
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル	465	0.38%	0	0.00%
			その他のボトル	1,070	0.87%	435	0.59%
			チューブ類	265	0.22%	0	0.00%
			資源発泡トレイ	260	0.21%	0	0.00%
			その他の発泡トレイ	210	0.17%	0	0.00%
			その他プラ容器	6,095	4.98%	105	0.14%
その他プラ包装			7,400	6.04%	385	0.52%	
レジ袋(ごみとして出された袋)		1,450	1.18%	120	0.16%		
容器包装以外	その他	1,655	1.35%	4,825	6.52%		
ゴム・皮革類			55	0.04%	5,935	8.02%	
その他可燃物			800	0.65%	0	0.00%	
不燃物	陶磁器・石類			0	0.00%	23,155	31.28%
	金属類	容器包装	アルミ缶	60	0.05%	255	0.34%
			スチール缶	0	0.00%	740	1.00%
			その他容器類	45	0.04%	4,850	6.55%
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)	0	0.00%	11,255	15.21%
			その他金属(リサイクル不可)	45	0.04%	5,620	7.59%
	びん・ガラス	容器包装	生きびん	0	0.00%	0	0.00%
			無色雑びん	200	0.16%	1,425	1.93%
			茶色雑びん	0	0.00%	435	0.59%
			その他色雑びん	0	0.00%	495	0.67%
		資源回収不適な雑びん	90	0.07%	645	0.87%	
	容器包装以外	その他	0	0.00%	3,945	5.33%	
	土砂・残土・灰			0	0.00%	0	0.00%
	蛍光管			150	0.12%	850	1.15%
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			0	0.00%	1,070	1.45%
	体温計(電子体温計を除く)・温度計			0	0.00%	0	0.00%
	その他不燃物			275	0.22%	2,300	3.11%
外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	515	0.42%	500	0.68%
		容器包装以外	プラスチック袋	515	0.42%	235	0.32%
合計				122,435	100.00%	74,005	100.00%

第3章 資源化可能物等の解析

1 可燃ごみの解析

本調査結果より、可燃ごみにおける資源化可能物の割合及び分別の不適正率を解析した。解析結果を表3-1に示す。

資源化が可能なものは13.85%、分別の不適正率は14.34%であった。資源化が可能なものは、紙類のその他紙容器（雑がみ含む）が最も多く3.11%、次いで新聞紙・ちらしで3.05%であった。ただし新聞紙の中には、厨芥類を包むのに使用されたもので水分を多く含んでいるものもあった。

前回調査では、資源化可能率が17.16%、分別不適正率は19.47%であり、どちらも減少する結果となった。

表3-1 資源化可能物及び分別不適正の割合（可燃ごみ中）

種別	分類項目			組成割合	資源化可能率	分別不適正率	資源化可：○	
	大分類	中分類	細分類					
可燃物	厨芥類	調理くず		44.38%				
		未利用食品		2.14%				
		食べ残し		3.08%				
		その他		—				
	紙類	容器包装	段ボール		0.34%	0.34%	0.34%	○
			資源紙パック		1.17%	1.17%	1.17%	○
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)		3.11%	3.11%	3.11%	○
			その他紙容器(リサイクル不可)		1.63%			
			その他紙包装		0.88%	0.88%	0.88%	○
		容器包装以外	新聞紙・ちらし		3.05%	3.05%	3.05%	○
			雑誌・書籍		1.33%	1.33%	1.33%	○
			OA用紙		0.87%	0.87%	0.87%	○
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)		2.10%	2.10%	2.10%	○
			その他紙類(リサイクル不可)		11.64%			
	草木類			1.20%				
	繊維類			2.12%				
	紙おむつ類			3.30%				
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル		0.38%	0.38%	0.38%	○
			その他のボトル		0.87%			
			チューブ類		0.22%			
			資源発泡トレイ		0.21%	0.21%	0.21%	○
			その他の発泡トレイ		0.17%	0.17%	0.17%	○
			その他プラ容器		4.98%			
その他プラ包装			6.04%					
レジ袋(ごみとして出された袋)		1.18%						
容器包装以外	その他		1.35%					
ゴム・皮革類			0.04%					
その他可燃物			0.65%					
不燃物	陶磁器・石類			—				
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.05%	0.05%	0.05%	○	
			スチール缶	—			○	
			その他容器類	0.04%		0.04%		
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)		—			○
			その他金属(リサイクル不可)		0.04%		0.04%	
	びん・ガラス	容器包装	生きびん		—			○
			無色雑びん		0.16%	0.16%	0.16%	○
			茶色雑びん		—			○
			その他色雑びん		—			○
		容器包装以外	資源回収不適な雑びん		0.07%		0.07%	
	土砂・残土・灰			—				
	蛍光管			0.12%		0.12%		
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			—				
	体温計(電子体温計を除く)・温度計			—				
その他不燃物			0.22%		0.22%			
外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	0.42%				
		容器包装以外	プラスチック袋	0.42%				
合計				100.00%	13.85%	14.34%		

2 不燃ごみの解析

本調査結果より、不燃ごみにおける資源化可能物の割合及び分別の不適正率を解析した。解析結果を表3-2に示す。

資源化が可能なものは30.79%、分別の不適正率は49.26%であった。資源化が可能なものでは、金属類のその他金属が最も多く15.21%であった。ただし、北区では平成26年11月よりその他金属の分別回収を実施しており、不燃ごみと同じ回収日に金属類のみを袋にまとめて出すこととなっているため、この項目には資源物として分別して出された金属も含まれている（集計上は区別されていない）。

前回調査では、資源化可能率が34.94%、分別不適正率は43.97%であり、資源化可能率は減少し、分別不適正率は増加した。

表 3-2 資源化可能物及び分別不適正の割合（不燃ごみ中）

種別	分類項目			組成割合	資源化可能率	分別不適正率	資源化可：○	
	大分類	中分類	細分類					
可燃物	厨芥類	調理くず		1.00%		1.00%		
		未利用食品		1.45%		1.45%		
		食べ残し		—				
		その他		—				
	紙類	容器包装	段ボール		0.06%	0.06%	0.06%	○
			資源紙パック		—			○
			その他紙容器(リサイクル可)(雑がみ含む)		0.24%	0.24%	0.24%	○
			その他紙容器(リサイクル不可)		0.01%		0.01%	
			その他紙包装		—			○
		容器包装以外	新聞紙・ちらし		0.01%	0.01%	0.01%	○
			雑誌・書籍		—			○
			OA用紙		—			○
			その他紙類(リサイクル可)(雑がみ含む)		0.06%	0.06%	0.06%	○
			その他紙類(リサイクル不可)		0.05%		0.05%	
	草木類			0.01%		0.01%		
	繊維類			—				
	紙おむつ類			—				
	プラスチック類	容器包装	ペットボトル		—			○
			その他のボトル		0.59%		0.59%	
			チューブ類		—			
			資源発泡トレイ		—			○
			その他の発泡トレイ		—			○
			その他プラ容器		0.14%		0.14%	
			その他プラ包装		0.52%		0.52%	
			レジ袋(ごみとして出された袋)		0.16%		0.16%	
	容器包装以外		その他	6.52%		6.52%		
	ゴム・皮革類			8.02%		8.02%		
その他可燃物			—					
不燃物	陶磁器・石類			31.28%				
	金属類	容器包装	アルミ缶	0.34%	0.34%	0.34%	○	
			スチール缶	1.00%	1.00%	1.00%	○	
			その他容器類	6.55%				
		容器包装以外	その他金属(リサイクル可)		15.21%	15.21%	15.21%	○
			その他金属(リサイクル不可)		7.59%	7.59%	7.59%	
	小型家電		3.09%	3.09%	3.09%	○		
	びん・ガラス	容器包装	生きびん		—			○
			無色雑びん		1.93%	1.93%	1.93%	○
			茶色雑びん		0.59%	0.59%	0.59%	○
			その他色雑びん		0.67%	0.67%	0.67%	○
			資源回収不適な雑びん		0.87%			
	容器包装以外			5.33%				
	土砂・残土・灰			—				
	蛍光管			1.15%				
	乾電池・マンガン電池・ボタン電池			1.45%				
体温計(電子体温計を除く)・温度計			—					
その他不燃物			3.11%					
外袋	ごみ袋	容器包装	レジ袋	0.68%				
		容器包装以外	プラスチック袋	0.32%				
合計				100.00%	30.79%	49.26%		

第4章 厨芥類の組成割合に関する解析

1 調査結果

厨芥類の調査結果を表4-1に示す。可燃ごみとして排出された厨芥類は可燃ごみ合計排出量の49.6%で、不燃ごみとして排出された厨芥類は不燃ごみ合計排出量の2.4%であった。なお、不燃ごみに排出された厨芥類は、不燃の容器に入った状態で不燃ごみに混入していたわけではなく、分別不適正なものとして排出されていた。

不燃ごみとして排出された厨芥類は、厨芥類の合計排出量の3%程度であることから、可燃ごみとして排出された厨芥類のみを対象に厨芥類組成割合に関する解析を行う。

表4-1 調査結果（厨芥類）

	排出量(g)	可燃, 不燃ごみに占める割合	厨芥類に占める割合
可燃ごみ	60,705	49.6%	97.1%
不燃ごみ	1,810	2.4%	2.9%
合計	62,515	—	100.0%

2 可燃ごみの厨芥類組成の解析

調査結果(厨芥類)を表4-2に示す。調理くずが最も多く89.5%、次いで食べ残しが6.2%、未利用食品が4.3%であった。

前回調査では、調理くずが85.2%、未利用食品が9.2%、食べ残しが5.6%であり、調理くずと食べ残しの割合が大きくなった。

表4-2 厨芥類組成

大分類	中分類	排出量(g)	原単位(g/人日)	可燃ごみ中の厨芥類に占める割合	
				本調査	(前回調査)
厨芥類	調理くず	54,320	114.4	89.5%	85.2%
	未利用食品	2,620	5.5	4.3%	9.2%
	食べ残し	3,765	7.9	6.2%	5.6%
	その他	0	0.0	0.0%	0.0%

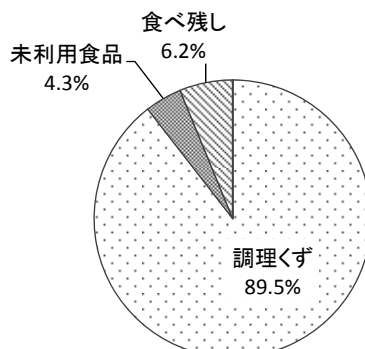


図4-1 厨芥類組成

家庭ごみ排出実態調査 報告書

平成28年 3月発行

委 託：北区 生活環境部 リサイクル清掃課
〒114-8508 東京都北区王子本町 1-15-22

受 託：八千代エンジニアリング株式会社
〒111-8648 東京都台東区浅草橋 5-20-8 CSタワー